

小学校英語お悩み相談室

| 第1回 |

2020年度から教科化される、小学校での英語教育。初めてのことにとまどう先生も多いと思います。先生方のそのお悩みを、英語教育のスペシャリストである小泉 仁先生が受け止めます。



QUESTION.1

英語が苦手です。
これから自分で英語の力をつけたいと思っていますが、どんなことから始めたらよいでしょうか。

A ALTの英語を 生きた英語教材だと考えよう

教員が教室で子どもたちに対して使う英語は、街の英会話学校に行ったら学べるようなものではありません。そこが、先生方も悩みどころなのではないでしょうか。

まず、お試しいただけたらと思うのは、ALTが子どもたちに出すすべての質問に、子どもと一緒に、小声で反応してみることです。これが第一歩かな、と思います。

そして次に、今度は指導者目線になって、ALTが出した指示をオウムのようにもう一度繰り返してみる。教室の後ろのほうに立ち、集中力を欠く子どもに、「ほら、前向いて」などと言うよりも、英語でALTの指示をまねて言ってみようが、子どもにとってもご自分にとっても効果的だと思います。**教室の、生の場面で使われるネイティブの英語を、ご自分の英語力アップのモデルとして利用しない手はありません。**

もちろん、市販のクラスルーム・イングリッシュに関する書籍などを活用するのも手だと思います。ただし、最初から順番にひたすら覚えていく、というようなやり方はなさらないほうがよいと思います。無理に全部覚える必要はまったくありません。パラパラと本を見てみて、「これは使えそうだな」と思ったものを2~3個ピックアップして、それを毎回必ず言うようにする。例えば“Time is up. (時間切れですよ)”と“Put them away. (片づけて)”だけは必ず言うようにする、など、ターゲットを絞り込んで使っていくのがいいのではないかと思います。

本当にどうしようもなく英語が苦手、という先生は、“Look.”と“Listen.”だけでも構いません。むしろ短い指示のほうが、子どもにも届きやすいと考えましょう。子どもたちに届くのは、長くても5語くらいの英文です。

とにかく、変に気負うことなく、ご自分のできる範囲のことから始めて、まずは先生が英語を楽しめるようになる、といいですね。

小泉 仁 こいずみ まさし
東京家政大学教授

元・文部科学省初等中等教育局教科書調査官。
日本児童英語教育学会(JASTEC)会長。
一般財団法人語学教育研究所理事。
中学校英語教科書
『COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE』(光村図書)の
編集委員を務める。

どんなお悩みにも
お答えします



QUESTION.2

**校内に掲示する、
英語の掲示物をつくろうと思います。**
どのようなことに気が付いたらよいですか。



A 脱・壁面装飾 年間計画を立てて効果的に

英語掲示のポイントは、**①さまざまな場所に、②計画的に、の二つです。**逆にあまりよくないな、と思うのは、一か所に集中させ、壁の隙間を埋め尽くすように、あれもこれも貼ってしまうことです。単なる壁面装飾になってしまっただけでは、意味がありません。テーマごとに場所を変えるなどして、秩序立てて貼ることを心がけたいものです。

この階段には月の名前が、あちらの階段には週の名前が貼ってある……というように場所を決めて、子どもたちにサブミナナルな効果を与えるものになる、いいと思います。そしてときどき、単語の順番を入れ替えたりして、子どもが「あれ? 前と何か変わってる?」と気づいたら、もっと意識して掲示を見るようになるかもしれません。

さらに、掲示物にもクイズ要素を入れておくと、子どもたちは興味をもって目にとめ

すよね。例えば、アルファベットを出すときには順番通りに並べておくだけでなく、「a・c・e」「f・h・l」「g・j・q」といったグループに分けて貼っておく。これは4線に書いたときに1段だけで済むもの、上2段を使うもの、下2段を使うもの、という分け方ですが、子どもたちは、何かな、と考える。ちなみに、「g・j・q」などは、よく「地下室のある文字」と呼ばれます。この方法は、小文字を教えるときに効果的です。

それから、掲示物にも年間計画があったらいいと思います。校内の掲示物は、子どもたちが英語のつづりになじんでいくためのものですから、単語の選択にも計画性が必要です。年間計画を立てれば、季節やそのときの学校行事に合わせた掲示もできますよね。例えば、6月だったら雨に関する語を並べたらおもしろいかもしれません。

貼ったきりで放置せずに、こまめに入れ替えたり、子どもたちの反応をみたりしながら、効果的な掲示にしたいですね。